

科目名		サブタイトル		担当教員	配置学年	単位数
政治経済		政治と経済の仕組みを知る		福山 圭介	1年次前期	2
科目区分	基礎	キーワード	民主主義、憲法、階級、資本主義、社会科学			
ディプロマポリシーとの対応		1. 時代や社会の要請に対応できる能力				
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける				
事前に受講するとよい科目		特になし				
講義の目的	皆さんが社会に出て働くようになると、仕事や家計を通じて否応なく政治や経済に関心をもつようになるはずですが、しかし日々のニュースは断片的な情報しか与えてくれません。本講義では、政治と経済についての古典的かつ根本的な考え方を学ぶことによって、そうした情報の意味を将来に渡って自分の頭で考えられるような「概念装置」を身につけます。					
到達目標	政治経済分野においてニュース時事能力検定準2級レベルの知識習得を目標としますが、単なる知識の暗記ではなく、社会科学として背後にある論理の探求を目指します。					
講義内容	なぜ民主主義という政治体制が生まれたのか？民主主義が独裁者を生むのか？政権政党は誰によって選ばれているのか？民主主義と資本主義はどんな関係にあるのか？政府の経済政策は誰のために行われているのか？日本は階級社会なのか？以上のような問いから出発します。					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第1講	オリエンテーション	授業概要や運営方法等の説明			
	第2講	民主主義と三権分立	ホブズ・ロック・ルソーなどの啓蒙思想の概要			
	第3講	世界の政治制度	アメリカ・イギリス・ドイツ・韓国・中国などの政治体制			
	第4講	大日本帝国憲法	大日本帝国憲法の概要・統帥権干犯問題など			
	第5講	日本国憲法	日本国憲法の概要・憲法9条をめぐる戦後史			
	第6講	戦後日本の政治史	戦後の首相と政策・55年体制とその崩壊など			
	第7講	国際政治経済	国際連盟と国際連合・国際貿易の枠組みなど			
	第8講	経済体制と経済学説	アダム・スミス以降の経済史と学説史の概要			
	第9講	戦後日本の経済史(1)	終戦～高度経済成長			
	第10講	戦後日本の経済史(2)	オイルショック～バブル			
	第11講	戦後日本の経済史(3)	失われた20年			
	第12講	金融政策と財政政策	日銀と財務省の政策・アベノミクスとは何だったか			
	第13講	地方自治と地方経済	原発問題を例に地方政治と地方経済を考える			
	第14講	政治経済基礎理論	ウェーバーとマルクス：上部構造と下部構造			
第15講	まとめと演習	これまでの復習演習				
指導方法	“スライドとプリントを使った講義65分+映像25分”が基本形式です。					
事前学習	事前にプリントをアップロードしますので、授業前に目を通しておいて下さい（目安60分程度）。					
事後学習	授業内容の理解度確認テストを毎回の課題とします。しっかり復習して課題を解いてください（復習と解答で90分程度）					
成績評価方法	本試験60%、授業課題40%					
テキスト	ありません。授業内でプリントを配布します。					
参考書籍	授業内で指示します。					
特記事項	本講義はキャリア科目として「ニュース時事能力検定」3級以上の受験を推奨しています。					